

～今月のテーマ～

静かな時

National
Parks
of Japan



利尻礼文
サロベツ
国立公園
だより

—その自然には、物語がある—

2021/12 Vol.12

礼文島 風に吹かれても

この日は写真を撮ろうとしてもシャッターボタンを押すことが困難な程、暴風でした。しかし、一日中天気は良く、夕日はとても綺麗でした。これから真っ白な銀世界の季節が始まりますが、どんな冬との出会いがあるか楽しみです。

撮影・文：津田涼夏
(礼文島アクティブレンジャー)



利尻島 白銀の姫沼

一晩にして真っ白な雪の世界に変わった翌日、静寂な姫沼園地を巡視しました。ナナカマドの赤い実やヤマブドウは雪の帽子を被り、カラ類の鳴き声と雪の重みでさしむ枝の音だけの世界。厚い雲が一瞬過ぎ去り、山の頂まで見せてくれました。

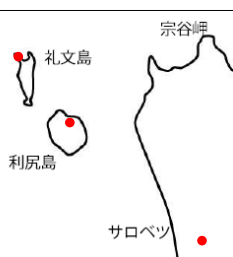
※姫沼園地は4月下旬まで冬季閉鎖中です

撮影・文：黒田芳人 (国立公園管理官)

サロベツ 雪が積もると・・・

本格的な冬の季節の前に、幌延ビジターセンターは閉館し、下サロベツ園地の木道にある看板も、風雪から守るためシートで囲い、冬支度が終わりました。雪が積もると木道も利用できなくなり、来年の春まで眠りにつきます。

撮影・文：福井翔太 (サロベツアクティブレンジャー)



—今回の撮影場所(撮影日)—

- 【利尻島】 姫沼園地
鶴泊港フェリーターミナルから車で10分(2021.11.25)
- 【礼文島】 スコトン岬
香深港フェリーターミナルから車で35分(2021.11.10)
- 【サロベツ】 下サロベツ園地 (幌延ビジターセンター)
JR下沼駅から車で10分(2021.11.18)

「利尻礼文サロベツ国立公園だより」とは

日本最北の国立公園には公園管理を行うスタッフが5名、利尻島・礼文島・サロベツの各地域で働いています。そんなスタッフが季節ごとのとっておきを皆様にお届けします。

発行：環境省 稚内自然保護官事務所